

週間国際経済 2021 (5) No.255 02/10~02/19

02/10・トランプ氏弾劾裁判「合憲」 米上院で可決 議会占拠扇動問う審理始まる

- ・ミャンマー数十万抗議デモ 警官発砲で1人重体

02/11・米中、経済・安保で応酬 両首脳、初の電話協議 (10日) <1>

米、人権問題を前面に 中国は緊張緩和を探る

- ・中東欧、対中外交で温度差 「一帯一路」投資進まず <2>

ポーランド、輸入拡大に不満 ハンガリー「反EU」で傾斜

02/12・印中軍、係争地引き上げ 完全撤去へ協議継続

- ・米、ミャンマーに制裁 軍司令官ら13の個人・企業 軍政阻止へ圧力

- ・米財政赤字240兆円に 21年度会計 債務、最大の3000兆円へ

02/13・伊首相にドラギ氏任命 欧州中銀前総裁 混乱ひとまず収束

先進国、協調路線一段と 議長のG20試金石に

02/14・車向け半導体生産停滞 TSMCなどスマホ・5G中心 品不足、半年以上続く恐れ

02/15・GDP年率12.7%増(10-12月) 通年4.8%減 1から3月、再び減少へ <3>

- ・トランプ氏に無罪評決 弾劾裁判 共和党造反は7人 トランプ主義決別できず

02/16・日経平均3万円回復(15日) 30年半ぶり大台 金融政策で押し上げ <4>

企業収益改善半ば 個人への恩恵薄く マネー主導危うさ

- ・WTOオコンジョイウェアラ次期事務局長「ルール近代化」強調

02/17・リスク資産にマネー流入 株高・原油高 インフレに懸念も <5>

ビットコイン初の5万ドル 昨年末から7割上昇

- ・国境炭素調整 欧米連携か 脱炭素加速へ事実上の関税 ルール作り、日本遅れ懸念

- ・米金利の上昇加速 一時1.30% 感染減、景気回復に期待 <6>

02/18・米小売り売上高が急回復 1月5.3%増、金額最高 現金給付が消費喚起

FRB「物価上昇は一時的」 FOMC要旨 長期緩和、全員が支持

02/19・「中国の脅威」対抗柱に NATO、米と同盟再構築

- ・中国、産児制限の撤廃検討 深刻な少子化に対応 東北地方で先行実施

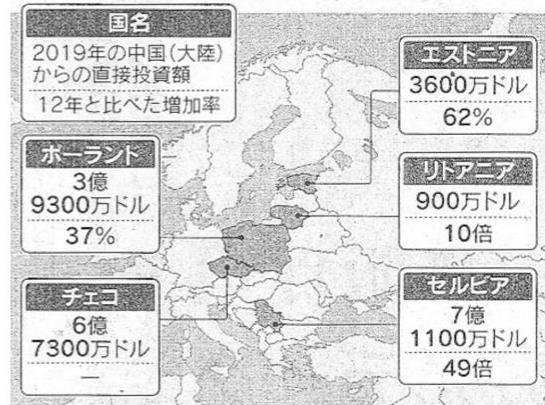
<1>

米中電話協議で浮かび上がった課題	
お互いに譲れない分野	新疆ウイグルの人権侵害、香港民主派への圧迫、台湾への軍事圧力
互惠協力が可能な分野	気候変動問題、コロナ対策
協議の余地がある分野	東・南シナ海を巡る中国の強硬姿勢、核不拡散問題、中国の経済慣行

(出所)米ホワイトハウスと中国外務省の発表をもとに作成

<2>

中国からの投資にはバラツキも

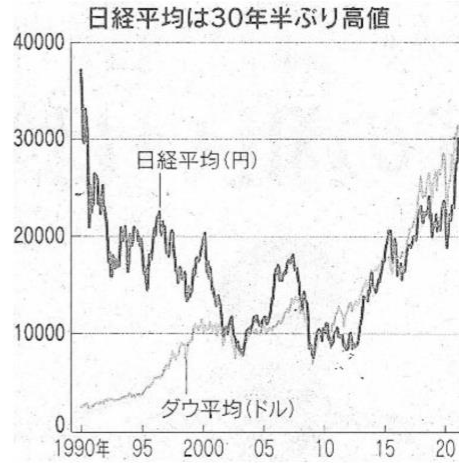


(注) —は比較できず、香港などからの投資含まず (出所)IMF

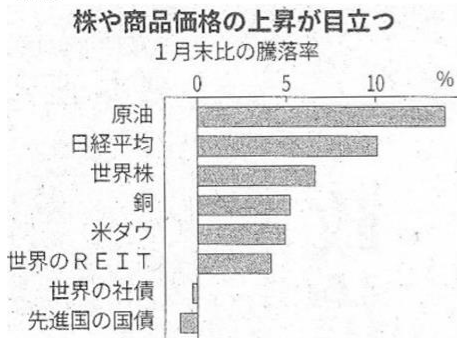
<3>



<4>



<5>



<6>

